

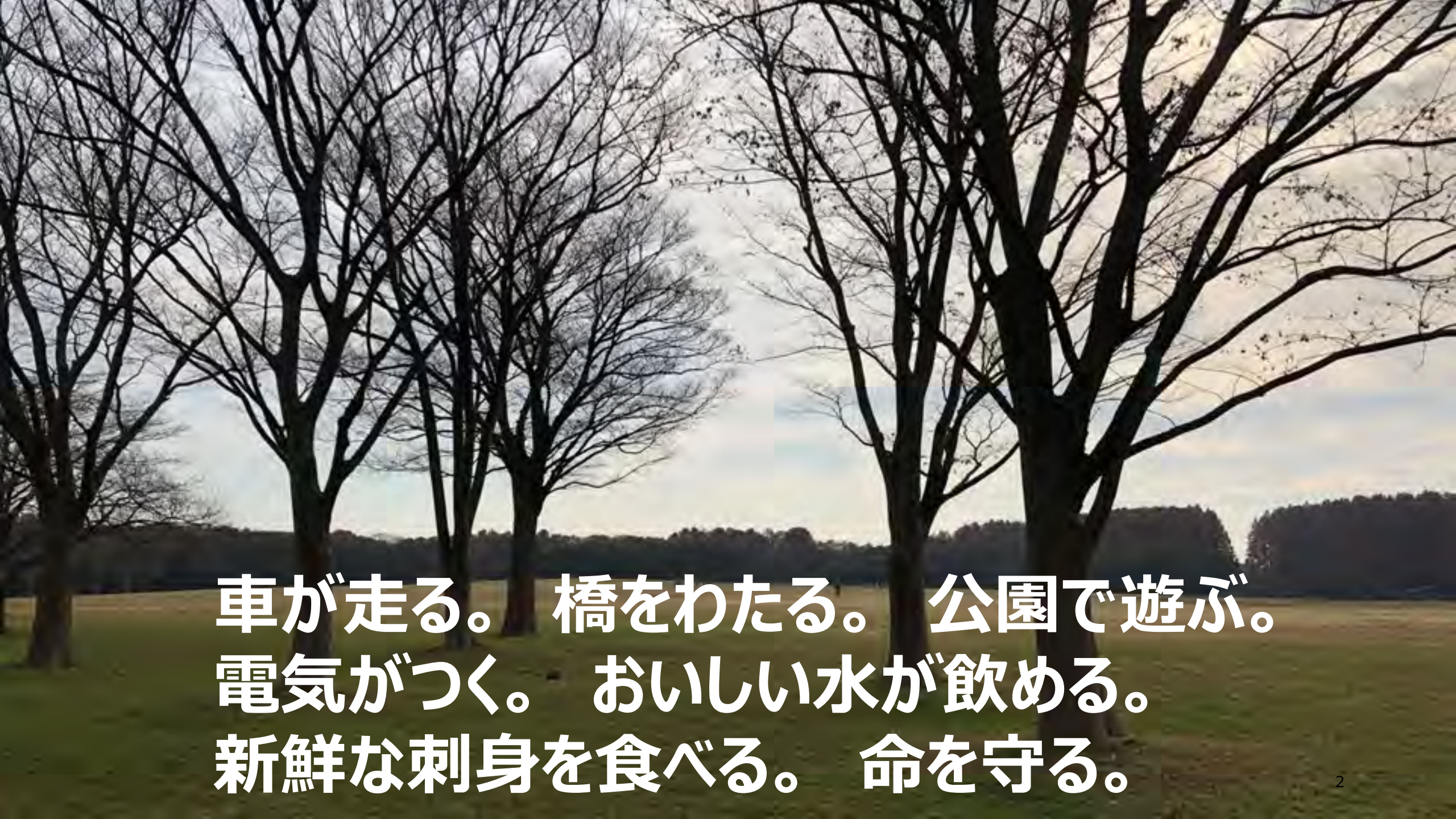


関東放送シンポジウム  
「ラジオによる地域社会への貢献」

# インフラバラエティの挑戦！ 「ドボクのラジオ」

2022年6月22日

株式会社建設技術研究所 松田光弘

A landscape photograph showing several bare trees in the foreground and middle ground, with a field and a line of trees in the background under a cloudy sky. The text is overlaid on the lower half of the image.

車が走る。 橋をわたる。 公園で遊ぶ。  
電気がつく。 おいしい水が飲める。  
新鮮な刺身を食べる。 命を守る。

東日本大震災の復旧・復興で

ドボクが果たした役割は、

ほとんど報道されなかった。なぜか？

それは○○○・・・だったから。

一方、多くの社会的課題が**トボク**にも関連する

- ・頻発する災害
- ・インフラの老朽化
- ・エネルギー問題
- ・地球環境問題
- ・少子高齢化 ……

「伝える」から「伝わる」へ

公益社団法人 土木学会  
「土木広報アクションプラン」  
2013年7月31日

# 報道のような直接的な情報伝達ではなく、 **バラエティ**に着目

- 土木構造物は「一品特注生産」 → 地域に根ざしたものの
- 地域を知る まちを知る → 日常だけでなく、非常時にも関心を持つ
- 当初は、中央区のインフラをテーマとして想定していた

建設技術研究所、土木学会、中央エフエムの三者で  
**土木広報**の一環として2019年5月1日に番組をスタート

# 番組による社会貢献①

- 市民の関心が、インフラの質を高め、結果として**市民の幸せ**につながる

ニーズの  
反映

社会的  
合意

防災意識

「公共」という概念の  
重要性

安全・安心で  
豊かな暮らし

予算

担い手

## 番組による社会貢献②

- 興味の対象としての**ドボク LOVE**に応える

大人の  
社会科見学

インフラ  
ツーリズム

重機

ダムカード

マンホール  
の蓋

巨大構造物



## 番組による社会貢献③

- 社会を支える多くの**エンジニア**にも光を

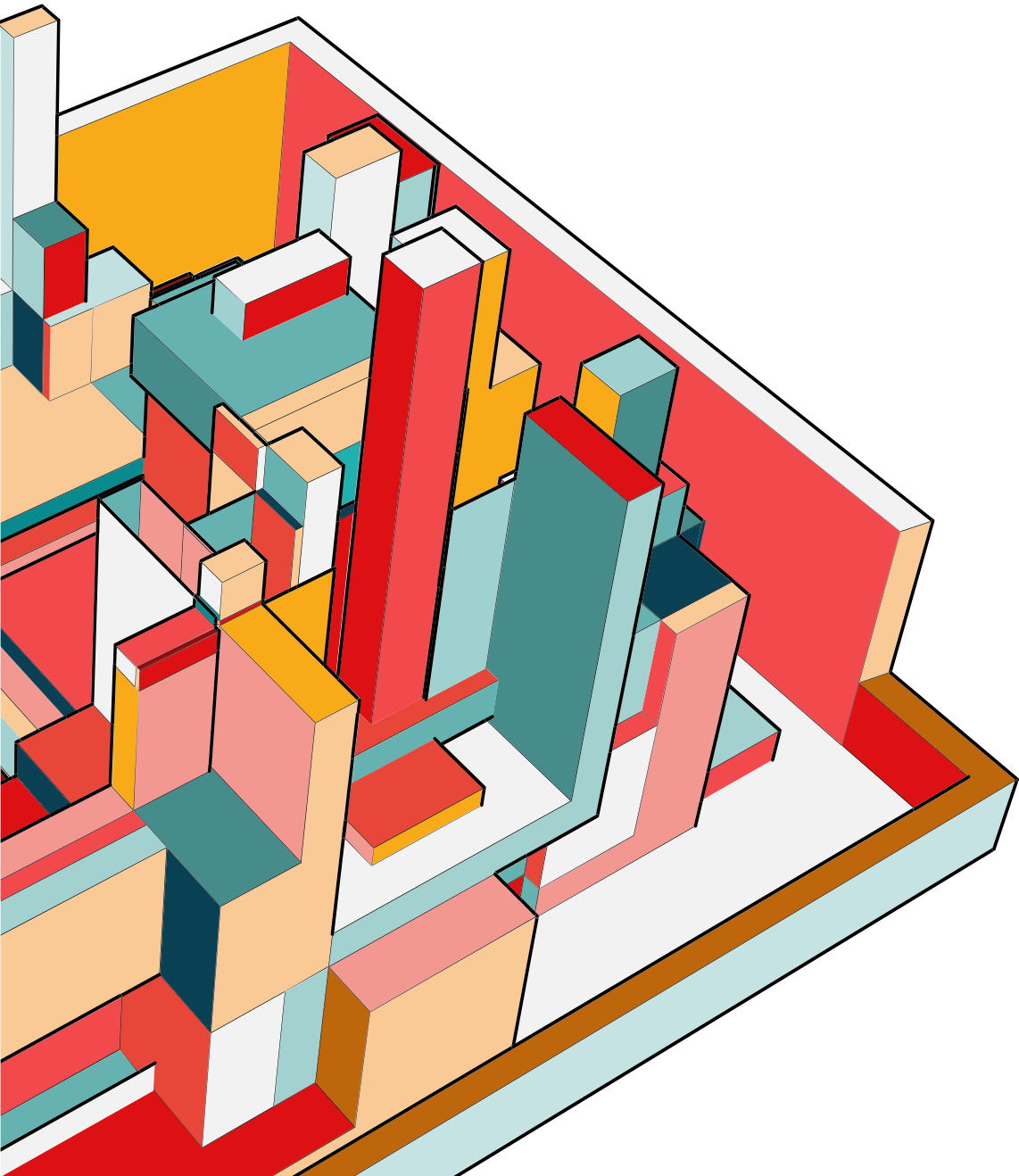
「あのビルを設計したのは建築家の○○さん」  
「あのダムを設計したのは????????」

子どもが憧れる職業に！

「ドボラジに出るよ／出たよ」  
HPやSNS投稿に！

自信と誇り

土木技術者 Civil Engineer



## メディアとしての ラジオの優位性

- 1対1のコミュニケーション
- ながら聴きできる
- どこでも聴ける
- 音楽との結びつきが強く、  
印象に残る



# ご静聴 ありがとうございました

## 【番組情報】

放送局：中央エフエム（84.0MHz）

毎週水曜夜8時～（再放送：日曜正午～）

提供：土木学会、建設技術研究所、清水建設、  
竹中土木、三井住友建設、理工図書

運営協力：建設物価調査会